

## 自己点検・評価報告書

はなさく言語学校

実施日：令和2年（2020年）9月1日

各点検・評価項目は以下4段階で評価を行い、十分達成されていないものは今後の課題を挙げた。

- A 達成されている
- B 概ね達成されているが、不十分なところがあり、改善に取り込んでいる
- C 達成に向けて努力している
- D 達成されていない/これから取り込む

### 1. 教育の理念・目標

【教育理念】評価：B

「皆学習者主義」を学校の理念として掲げ、学習者のみならず教員や職員が率先して自身の能力を高めるべく率先し、学習者の目的の実現、多様な学習者のニーズに対応するため「協同学習」を通じて学び合うことを旨とする

【目標】評価：A

- ・学習を通じて、学習者自らの進路を切り拓くことができる
- ・学習者が自身と自身に関わる社会に対して責任を持ち、日本語を用いて問題解決できる
- ・学生の成長と共に、職員が人間的な成長できる

### 2. 学校運営

【学校運営】評価：B

日本語教育機関の告示基準を満たす教職員・設備が整っている。クラス編成、各職員の担当業務などを常に見直し、定期的に運営会議を行っています。これから、運営会議の内容をすべての人員に伝わるように今後工夫する必要がある。

### 3. 教育活動

【教育課程】評価：A

当校は、初級Ⅰ、初級Ⅱ、中級Ⅰ、中級Ⅱ、上級と日本語能力を段階的に設定し、その段階に応じて自己解決能力を高める活動を取り入れている。また「皆学習者主義」に

沿って職員と学習者がともに活動できる機会を多く設け、日常では垣間見られない学習者の素顔に触れることで、職員自身が日々の業務や自身の能力を見直している。

**【告示基準第6】評価：A**

当校は出入国在留管理庁が定める告示基準第6【教育課程】における全基準を満たしている。

**【教育課程の改善】評価：A**

学生のニーズと社会の変化に応じて、より学習者が学びやすい環境を整えるべく、2020年5月29日付で教育課程の変更手続きを行い、改善を図った。

**【教員の指導力向上のための取組み】評価：A**

学期終了後には、適宜教師による勉強会を設け、授業の進め方、教材、その他授業に関すること、また今後の授業方針について会議を行い、模擬授業やビデオ撮影した内容を検証して、教師のスキル向上を図っている。

#### 4. 学修成果

**【学生の達成すべき日本語能力】評価：B**

日本語能力試験のN2取得を達成すべき目標に掲げ、またそれに対応したカリキュラム内容を組んでいる。現状、完全達成までは半ばであるが、より細やかに対応すべく【教育課程】の変更を行い、また日本語能力試験以外の資格試験への受験を促している。そして、大学進学者に対しては日本留学試験の受験に対して、カリキュラムにもその内容を十分に盛り込み対応する。

**【成績評価・修了判定基準】評価：A**

当校は、年2学期、各学期2回、合計年4回の試験を行い、「漢字」、「語彙」、「文法」、「読解」、「聴解」、「会話」と評価項目を立てて、それぞれ試験を行って評価している。成績はS、A、B、C、D評価を設け、各試験で学生が獲得した点数を評価基準に換算して評価している。修了判定基準としては、在籍している期間に行われる試験を受けて、評価を受ける必要がある。

## 5. 学生支援

### 【進路指導】評価：A

1年目は定期試験後、2年目は最低月に1度、進路指導を兼ねた面談を行い、学習状況を確認しフィードバックを行う。面談では、「卒業後の進路」、「授業」、「学習状況」、「生活状況」等をヒアリングし、何か問題がある学生に関しては教務、事務等にその旨を伝え情報共有している。

### 【生活指導】評価：A

生活指導担当を中心に学生が快適に留学生活を送れるようサポートしている。来日時での諸手続き(健康保険、健康診断など)や生活における諸注意(ゴミの捨て方など)、また、寮の設備、郵送物の説明、体調状況の確認等、適宜学生が連絡を取りやすいように連絡網を作り、すぐに対応できるようにしている。体調不良を訴える学生に関しては、平日休日問わず、その症状に応じて病院を紹介するなど対応している。

## 6. 教育環境

### 【学校施設・設備】評価：A

図書の充実、トイレ、駐輪場、保健室、交流スペース等を確保し、学生が学校で快適に過ごせるよう努めている。

### 【教育設備】評価：A

各教室にプロジェクター、テレビパネルを完備し、静止画やPPT、イラストなどを使い、学生が授業内容を理解しやすいように努めている。

## 7. 入学者募集

### 【入学者募集】評価：A

多国籍の入学希望者に対して募集を行っている。また入学希望者は現地及びオンラインにおいて面接を行い、日本語能力のチェックや学習意欲、進路目標、経費支弁状況などを確認したうえで受入れの判断をしている。

## 8. 財務

### 【財務】評価：B

三井住友銀行をメインバンクとしており、グループ企業と財務的な連携を取ることで財務

基盤の安定化を維持している。

予算、収支計画と共に中長期的な計画を練り、収益増の為の募集活動を行っている。

支出に関しては学生数の規模に応じて負担経費の最適化を図り、財務基盤を強化している。

財務基盤の更なる改善策として、入学者数を増やしていく活動はもちろんのこと、在学者の退学、除籍等の対策として生活指導を手厚く行っている。

## 9. 法令遵守

### 【法令遵守】評価：A

出入国管理法、難民認定法および各種関係法令を遵守し、適切な運営ができています。学生が入国および入学時に通訳を介して母国の言語で留學生活にかかわる日本の法律や生活規則、学則などを説明している。また、留学生による犯罪についてしっかり説明し、触れることのないように周知を行って、管理をしている。